

# シンナガサキみーていんぐ開催レポート

## in 日吉小学校区



令和6年11月18日（月）、自治会や消防団、児童民生委員、PTA、学校、地元事業者・学生など16人の皆さんにお集まりいただき、日吉小学校区の「シンナガサキみーていんぐ」を開催しました。

自己紹介では、念仏講まんじゅうや地蔵まつりなど特色ある地域行事や地域が一体となったコミュニティ活動、日吉地区で暮らしていく中で感じていることなどをお話をいただきました。



## いただいたご意見

### ①飯香浦地蔵祭り飾りそうめん500年祭について

飯香浦地蔵まつり飾りそうめんの500年祭について、記念碑建立や郷土史家による講演を検討している。記念事業の実施にあたり、市からの何らかの支援をしていただけないか。

市の考え方  
回答

伝統文化の保存・継承に対する支援については、現在、市指定無形民俗文化財に指定された郷土芸能の保存団体（以下、「市指定団体」という。）が行う備品の購入や後継者育成費用などに対し、「長崎市指定文化財等保存整備費補助金」による補助（上限5万円）を行っています。

また、市内50の郷土芸能保存会が加盟している長崎郷土芸能保存協議会へ、その運営に係る経費及び同協議会が主催する長崎郷土芸能大会の開催経費に対する補助を行っており、同協議会を通じ、大会に出演する郷土芸能保存会への出演経費を助成するなど、市内各地域における郷土芸能の保存・継承活動への支援を行っています。

他に、国や民間団体の助成制度の情報提供や申請等手続き支援など協力をさせていただいているので、ご相談ください。



## ②通学路の安全確保について

子どもの通学について、登校時は通勤の人や先生たちの見守りがあるが、下校時は最後一人になる。保護者も共働きで送り迎えができないし、イノシシがいつ出るかわからない。防犯ベルだけでは不安に思う。

市の考え方  
回答

長崎市では、子どもの登下校をはじめ、子どもが安全に安心して過ごすことができる住みよいまちを目指し、青少年育成協議会やPTA、小中学校等を構成員とし、各小学校区に組織される「子どもを守るネットワーク」の取組みを推進しています。

各ネットワークの主な活動は、地域の安全確保のための危険箇所点検を兼ねた巡回パトロールであり、危険箇所等があった場合は、長崎市（こどもみらい課）へ報告・改善要望を行い、こどもみらい課が関係各課と連携を図り、対応しています。

また、長崎市（こども相談センター）は、子どもの生命等の安全を脅かす事案（不審者・有害鳥獣事案）に関して、関係機関と連携して迅速に情報を収集・分析したうえで、情報（こども安全注意報）を発信し、被害の拡大の防止を図っています。

今後も、子どもの安全安心の環境づくりに努めてまいります。

## ③自治会要望への対応について

自治会で、道路等の補修の要望を出しているが、一向に改善してもらえない。予算がないのは分かるが、少しでも対応してほしい。去年は4月に要望しても、現場確認は10月。早く結果が出るようにしてもらいたい。

市の考え方  
回答

毎年、自治会からいただいている要望につきましては、全てを施工するのは困難なため、調査を行い、緊急性の高い箇所から施工しています。毎年8月末日を自治会要望の締切としており、9月より随時調査を行っていますので、ご理解のほど、よろしくお願ひします。

そのほか、「日吉小中学校は少人数ならではの良さがある。地域も学校を応援してくれるので、この学校を大切にしていきたい」、「朝夕のバスの時間が少ないのは仕方ないが、もっと利用しやすい時間になるように地域のニーズを反映できるようになるといい」、「S字道路の改良をしてほしい」などのご意見をいただきました。



## 鈴木市長のひと言

それぞれの立場で地域に関わって、地域のために一生懸命頑張っておられることがよく分かりました。また、色々なお話を伺うなかで、人口減少の影響などにより、様々な公共サービスの低下に関して不安を持っていらっしゃることも知ることができました。

長崎市としても、皆様のお声にしっかりと寄り添いながら、その時代のニーズにあった形でできることを最大限やっていきたいと考えています。



## 参加者からの感想

市長さんが話を聞いてくれるので、良かった。話足りないので、もっと話をしたいと思った。

みなさん地域愛を持っているので、良くしたいという思いを感じた。できること、できないこと、時間がかかる理由などを、見える化した方がいいと思った。

地域の方の生の声がたくさん聞けたので、良かった。

ひとつのテーマでも、それぞれの立場の方の意見や考え方があるのがわかり、有意義だった。

